

中部ESD拠点運営委員会（第28回）議事メモ

日 時 平成22年7月27日（火）18時30分～20時20分

場 所 中部大学名古屋キャンパス（8-C号室）

出席者 竹内委員長、寺井、高山、武者小路の各委員

事務局 古澤、岡本

議 事

1. 報告事項

○第5回中部ESD拠点連続講座の開催内容が報告された。

2. プロジェクトの進捗について

① サイバー対話について

武者小路委員より、i-ダイアログおよびサイバー対話についての進捗状況が以下のように説明された。○CBD市民ネットと中部ESD拠点の共同作業どうやっていくのか、という問題で、CBDの運営委員会から意見があった。中部ESD拠点がサイバー対話の運営を行い、CBDがそれを利用するというかたちであるとの意見を受けた。

○CBD市民ネットの作業部会には、ポジションペーパーつくるときにi-ダイアログを活用してもらう。すでに、生命部会、ジェンダー・マイノリティの部会はi-ダイアログを使っている。

○国際的なサイバー対話とi-ダイアログの連動に関して、翻訳の問題で苦戦している。翻訳者で心当たりがあれば紹介して欲しい。

○それぞれのGood Practiceをレポートしてくれたらサイバー対話に載せることができるので引き続き募集を行う。

② COP10 出展について

古澤事務局員より、COP10の出展について以下のように報告と問題提起があった。

○中部ESD拠点が申請を出したCOP10本会議場外の「生物多様性交流フェア」のブース使用が決まったので説明会に参加した。

○また、フォーラムに関しても、第一希望の18日は取れなかったが、10月20日(水)15:00～17:30で決定したので準備を進める必要がある。

○他の国内RCEからも問い合わせがきはじめている。

○ブースに駐在するスタッフ（店番）に関しては、中部大学で11日間分の人員を確保できる見込みがある。それ以外を国内RCEのサポートも含め分担する必要がある。

○中部ESD拠点運営団体からも割り振ってスタッフを出していただく必要がある。

○また、店番のことを考えても、国内RCE連携ブースと中部ESD拠点のブースは連携するのが望ましいのではないかと。

○国内連携のブース出展料に関しては、RCE中部が半分の6万円を負担することに対して国内RCEからは謝意を受けている。

- 中部 ESD 拠点協議会参加団体への募集はブース使用が正式決定したので今後アンケートと共に作成して発送予定。

古澤事務局員の報告を受けて、以下のように種々議論、決定があった。

- 拠点協議会参加団体へのブース展示募集は、パネルだけではなく、ブースの一日使用も可とする。
- 生き物の展示があってもよいのではないかと思うが、問題もあるだろう。実現は難しい。
- 展示スペースのデザインに関する原案は事務局が作成することとする。
- パネルの送付先は中部大学に送ってもらい、大学から搬入するが、貴重品や短期の展示に関しては各自でブースへ直接搬入をしていただくこととする。
- 国内連携フォーラムに関しては、3月の国内会議でシンポジウム形式という意見があった。準備等を含めると、実質的には1時間くらいではないか(2時間確保)。
- 竹内委員長が「地球憲章」で確保した10月22日のA(午前)も実質的には空きがある。ESDでの使用も検討できる。

3. 「ESD世界の祭典 地球市民フォーラム2010」の参加について

古澤事務局員より、「ESD世界の祭典 地球市民フォーラム2010」の企画概要が説明され、その中のセッションでRCE連携の依頼がきていることが報告された。3つの海外RCEと3つの国内RCEがペアとなり分科会を担当することになっている。RCEデリーは、「気候変動」のテーマでRCE中部と連携を希望している。

この提案を受けて、以下のように議論がなされた。

- デリーの申し出を受ける場合、どのような内容で出展するか。もしデリーと中部と一緒にやるとすると気候と生物多様性をむすびつけることできる。次のCBD-COPはデリーとの情報もある。
- 気候変動がテーマということであれば、デリーと名古屋圏の大都市圏同士で協力できるのでは。竹内研究室からCO2削減のロードマップをプレゼンをしたい。
- 「気候変動と大都市圏」のテーマにサブテーマをつくってはどうか。大都市圏にはヒンターランドもあり、その生態系に関することはテーマになる。若者はテーマというより手段。では、大きなテーマを「気候変動と大都市圏」とし、その中に、都市におけるCO2削減のロードマップと、ヒンターランドにおける生物多様性の問題があり、その解決の手段として若者の話を加える。
- 生物多様性の事例は何を発表する？サイバー対話も取り組み事例のひとつ。サイバー対話内にある事例をもっていけばよいのでは。

4. 中部ESD拠点連続講座について

古澤事務局員より、次回の中部ESD拠点連続講座に関して、予定では、9月にノンフォーマル教育に関する話題提供での実施となっているが、どのような内容にするかとの問いかけがあった。

- 新海・千頭両委員に企画案を作成していただくこととした。
- 日程に関しては、9月30日(金)を第一候補とし、同日の講座前に運営委員会を開催することとした。また、場所は名大やエコパルなど、中部大学を離れて開催することも良いのではとの意見交換があった。

以上。